○案 件 : 十日町市公立保育園の統廃合及び民営化計画 (第2次実施計画)

○募集期間 : 平成28年2月15日～3月4日

○提案された意見数 (意見提出者数) : 4人

○ご意見に対する市の考え方

渡辺 奈々子

(松代保育園 保護者) 様

意見等 (要点)	十日町市の考え
<p>○上野保育園が民営化した、民営化後の改善点や問題点の検証はしたのか。その結果どのような問題点があったかを教えてください。</p> <p>○保育園民営化になるということは、保育園の先生が突然入れ替わるということになるのではないかと。その場合の子どもたちへの影響や対処方法は考えているか。</p> <p>○民営化によって保育料は変わるのか？ 上野保育園の状況とともに今後の予想される展開を教えてください。</p> <p>○障がいのあるお子さんの受け入れに関して公立保育園でなくなるにより問題は生じないか。他の事例からみると、手あつい助けが必要な児童に対して入園拒否をするなどの問題もみられるが、そのような状況に対して、市は介入し対処できるのか。</p>	<p>○上野保育園は平成27年4月1日に民営化しました。保育サービスは、年末の保育日を2日延長、受け入れ月齢の4か月短縮や、保育時間30分延長などが改善されています。また民営化後も、保護者・事業者・市による三者協議会を2回開催していますが特に保護者から問題点等のお話はありません。</p> <p>○保育士の入れ替わりに対応するため、引き継ぎ保育を実施します。また、臨時職員の移管先法人への移籍等も活用し、児童・保護者との信頼関係の構築に、きめ細かく対応します。なお、上野保育園では、1月から3月までの3か月間引き継ぎ保育を実施し、大きな混乱はありませんでした。</p> <p>○保育料は市内で統一されていますので、民営化によって保育料が変わることはありません。</p> <p>○障がいのあるお子さんの受け入れに関し、私立保育園には、市単独の補助制度を活用し、積極的に受け入れていただいています。また、入園調整は市の業務であり、正当な理由のない入園拒否はできない制度であり、適切に対処しています。</p>

○民営化によって保育士の質が下がることはないか？上野保育園の事例とともに証明してほしい。

○保育園は、公立・私立とも同じ国家資格を持った保育士が配置されています。

また、私立保育園には、全国統一の公定価格に基づく施設給付費が給付される制度となり、必要な保育士を正職として雇用しやすく、国の政策として保育士の処遇改善が実施されているため、私立保育園の保育士の処遇は年々改善されています。

各種の保育士研修などには、公立・私立合同で参加していますので、民営化によって保育士の質が下がることはありません。

お名前 非公開希望 様	
意見等 (要点)	十日町市の考え
<p>○まず、パブリックコメントを公募するにあたり保育園におく素案を2~3部おいてもらい、貸出可にしていきたい。(子どもの送迎時にじっくり読むのは困難で、自宅で子どもが寝た後か、会社の昼休み等の時間に読みたい為。また市ホームページ、子育てからページが見つけれなかった為。)</p> <p>○民営化により病児・病後児保育が充実するのはとてもうれしい。是非よろしくお願ひします。</p> <p>○私は、介護や障がい者支援の社会福祉法人に勤めています。市の委託事業です。仕事の日曜日・祝日に慣れた保育園、慣れた保育士に預けたいです。日曜日・祝日の保育園オープンを希望します。</p> <p>○そもそも、私(子にとって母である私)が仕事をしているのは“やりがい”もそうですが、父(旦那)一人の給料では、五人の家族を養えないからです。だから私が、働かなければならず、だから、子どもを保育園に預けなければならないのです。子育て世代の収入がアップする取り組みを希望します。片親の収入で生活できるまちづくり。</p> <p>○子育てのお金を行政で確保するために、「元気なお年寄り」を、「健康寿命を伸ばす」取り組みをし、介護面や医療面での支出を抑える取り組みを希望します。</p>	<p>○ご要望に対応できるよう、改善に努めます。</p> <p>○延長保育、一時預かり、病児・病後児保育、休日保育などについて、民営化に際し多様なニーズへの対応を図るよう努めます。</p> <p>○市内では、いくつかの私立保育園で休日保育を実施していますが、今後も各園に働きかけを行います。</p> <p>○若い子育て世代が、安心して子どもを産み育てられる社会を実現するため、十日町市では各種の産業振興や雇用改善対策を進めています。</p> <p>○介護予防事業や健康増進事業について、引き続き事業内容の充実に努めます。</p>

お名前

非公開希望 様

意見等

十日町市の考え

○「三つ子の魂百まで」と言われますが、豊かな人格を形成する上でも、丈夫な心身を獲得する上でも、人間にとって子供時代は非常に大切です。

私たちの知恵を最大限結集し、子供達にとってよりよい環境を整える必要があると考えます。

子供達を巡る状況で、強く危惧していることが2つあります。1つは、いじめに象徴されるように、子供達が「自分自身や身の回りの人を大切にすること」ができづらい傾向が感じられます。大人の社会を反映しているのですが、何としても、子供達が大人の社会に振り回されることなく、より望ましい価値観を確立できるよう、最大限の援助が必要です。

もう1つは、「鉛筆で力を入れた文字が書けない」「体が硬く柔軟性がない」など、バランスをとれた体の発達できていない傾向が感じられることです。これらの2つは、その後の人生やこれからの社会を大きく左右する可能性があり、あらゆる手段を駆使しながら改善を図る必要があります。このために、子供時代をどう過ごすかが決定的に重要であることは、異論がないと思います。これらを踏まえ、「第二次実施計画」について、意見を述べさせていただきます。

○1次計画を含め、これまでの取り組みについての、客観的な総括と評価について、記載をお願いします。これまで、いくつもの保育園が閉園され、また、民営化されています。2次計画を検討する上で、これまでの取り組みを振り返り、成果や問題点などを客観的に整理することが不可欠であり、検討を行うための大前提だと思います。主な観点だけでも、次の事があげられると思います。

・閉園等で、自宅から保育園までの距離が遠くなったことによって、子供達や家庭にどのような影響があったか。

・より大きな集団のなかで保育を行う事が、様々なタイプの園児（活発な園児、引っ込み思案の園児、なかなか意見が言い出せない園児など）にとって、どのような影響があったか。また、保育士にとって、どのような影響があったか。

・民営化によって、保育園としての機能が、良い面・悪い面を含めて、どのように変化したか。経営面・機能面において、当初の計画と比較してどうか。全体として、保護者はどのように感じているか。

○民営化により、「市としての保育に対する考え」が現場に反映されづらいことが生じるのではと懸念しています。一つ一つの保育園は独立の存在ですが、市全体として足並みを揃えて、よりいっそうの保育の充実に努めていく必要があります。

・近年は、複数の自家用車をお持ちの家庭も多くなり、また通勤途中にある園を選んでいただいで預けるケースも多く、通園の形も変わってきたと考えています。また、川西地区では送迎バスを運行しておりますし、市街の私立保育園では園バスにより対応している園もあります。

・小さい園では、複数の年齢児をひとクラスで保育しなければならない場合があります。保育にはある程度の集団を作り、同じ年齢児ごとにクラス編成をするのが園児の育ちの上で必要と考えています。これは、保育士にとっても子どもの発達を見守りやすい環境となっています。

・上野保育園は平成27年4月1日に民営化しました。保育サービスの改善点は、年末の保育日を2日延長し、受け入れ月齢の4ヶ月短縮や、保育時間30分延長などです。保護者からの不満の声は特にいただいておりません。

○「市としての保育に対する考え」は、市の総合計画や子ども・子育て支援事業計画など、多くの市民が関わって策定した計画に示され、またこの計画に基づいた具体的な子育て支援の施策を市は実施しています。民営化により、市の考え方が反映されな

<p>○市として、地域活性化を含め、新たな視点で保育園を位置づけることを提案します。例えば、A型～C型の他に、強い特徴（体を積極的に動かし体力や柔軟性の獲得を重視する、野菜や果物栽培に取り組み給食でも活用するなど）を持った保育園を設置し、保護者が優先的に利用できる市営住宅を建設することで、市外からの移住者もある程度期待できると思います。「子供を育てるなら十日町市」を強く打ち出すことが活性化にもつながると思います。</p>	<p>くなることはありません。各保育園が、それぞれの特色を活かし、創意工夫を重ねて保育の内容の充実や、質の向上を図ることにより市全体のレベルも向上するものと考えています。</p> <p>○ご提案については、今後のまちづくり施策の参考とさせていただきます。</p>
--	---